

野地潤家 みのじゅんか 国語教育学者、教育哲學博士。大正九年後藤縣生れ（一九

一一）。昭和二十二年廣島文理科大學文學科卒業。松山城北高等女學校教諭、廣島高等師範學校教諭、廣島大學教諭歷任。作家樺山幸之の廣島高師時代の擔任教師だ、樺山幸之の父向入部『大形鬼』による評論。

著書『国語教育研究—国語教育研究の歴史』（昭和二十六年二月）、「

江廣雑・序章）、『近代国語教育研究』・大正編』（編、昭和二十九

年十一月）、『江廣雑・広島大学国語教育研究部国語教育研究室』、「久々井英治」、『龍井一矩内・萩田虎雄の傳記』（八日著、昭和四十五年五月龍井虎雄出版社）、『源平桃』（昭和四十六年六月）、「文化評論出版社」、『國語教育の歴史』（昭和五十七年七月）、「国士社」「国士新編」（一九八〇年）等。

